

Vol.68

Vol.68 (2016年 秋号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Column / 理事ごあいさつ	3
Activities / 支部活動	6
Stakeholders / 法人スポンサー紹介	9
PM Calendar / PM カレンダー	13
Fact Database / データベース	14
Editor's Note / 編集後記	18

Column / 理事ごあいさつ	3
PMI 日本支部 組織拡大担当	徳永 幹彦
PMI 日本支部 副会長	端山 毅
PMI 日本支部 監事	平石 謙治
PMI 日本支部 国際連携担当	福本 伸昭
PMI 日本支部 国際連携、標準担当	除村 健俊
PMI 日本支部 監事	渡辺 善子
Activities / 支部活動	6
• PMI Japan Festa 2016のご案内	
• リーダーシップミーティング2016概要報告	
Stakeholders/ 法人スポンサー紹介	9
• ソフトバンク・テクノロジー株式会社	
• 株式会社ビジネス・ブレイクスルー	
PM Calendar / PMカレンダー	13
• PMI 日本支部関連セミナー等	
Fact Database / データベース	14
Editor's Note / 編集後記	18

◆ 商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。

「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Column / 理事ごあいさつ



組織拡大担当

徳永 幹彦 (とくなが みきひろ)

株式会社 日立インフォメーションアカ
デミー
主管コーディネータ

組織拡大委員会を担当しております徳永幹彦です。

私自身は、ソフトウェアプロダクト開発を中心に活動し、2006年からは、IT人財の育成業務に携わって参りました。2006年に、当社がPMIの認定教育会社としてREPを取得したことで、PMBOK®を知り、PMコミュニティ活動にも参加するようになりました。

理事就任以降、マーケティング・会員を担当し、昨年からは、ステークホルダー委員会の機能を再編成して、PMI日本支部の価値を訴求することによって個人会員や法人スポンサーなどを増加させることを目的に、組織拡大委員会を立ち上げました。

プロジェクトマネジメントを必要とする企業では、企業によって扱うプロジェクトの規模や対象が異なっているので、プロジェクト・マネジャーを専門職として育成している企業もあれば、プロジェクト・リーダーに必要なスキルとして位置付けている企業もあります。また、プロジェクト・ナレッジを蓄積し、組織的に活用している企業もありますが、ナレッジの蓄積と活用が十分行われていない企業もまだまだ多いと感じています。個人／企業のプロジェクトマネジメントに求める価値が異なっていることを踏まえ、PMPなどの資格の価値、PMIおよびPMI日本支部会員の価値、法人スポンサーの価値など、誰にどのような価値を提供すべきか整理し、委員会や研究会と連携しながら価値の見える化を図っていきたいと考えています。

一方、PMI会員およびPMP資格取得者はIT系のプロジェクト関連者が多い現状となっていますが、デジタル化の進展により様々な業界との融合が起こっており、連携が必要になってきます。例えば、EPC系とIT系のプロジェクト・マネジャーがチームで仕事することも出てくると考えます。

モノの提供方法とライフサイクルが変わることによる、プ

ロジェクトマネジメントの多様化が起こることを前提に、PMI会員だけでなく、プロジェクトにかかわる多くの方と議論しながら、新たな価値の提供に向けて努力していきたいと考えております。



副会長

端山 毅 (はやま たけし)

株式会社 NTTデータユニバーシティ
代表取締役社長

間もなく、理事就任から満10年になります。こんなに長くとは思わなかったのですが、のめり込んできました。渉外/国際関係委員会、広報宣伝/情報宣伝委員会を担当し、現在はミッション委員長を務めております。

振り返りますと、私にとってPMI日本支部の魅力は三つあると思っています。

一つ目は個人会員中心の自由闊達で多様な人が集まる場であることです。業界、所属組織、役職、国籍、性別、年齢、出身地など、さまざまな方々と出会えました。以前から、業界団体や学会など、国際的な場も含めて、多くのコミュニティに参加してきましたが、PMI日本支部には独特の刺激がありました。それは志や思いを持った人達がぶつかり合う創造的な場であるということです。

二つ目は国際的な視点です。PMI本部との接触を通じて、グローバルな課題認識や知見に近づけただけでなく、アジアの近隣支部の役員とも親しく交流できました。インド、マレーシア、トルコ、中国などに出かけてPMI関連のイベントに参加し、業務出張や観光とは違う視点で各国の状況を理解することができました。最近では欧米の大学でのPMに対する取り組みを知る機会もあり、日本の教育／研修を考える上での刺激を受けています。

三つ目は、組織運営やガバナンスの仕組みです。PMI本部からの指導もあり、規約や計画、予算などの一定の形式を求められます。また、日本支部としても組織の成長と共にガバナ

ンスの仕組みを整備してきました。一般社団法人という法人格を持ち、事務局に専任スタッフを抱えることで、安定した会員サービスを提供できる基盤が整っています。その上で、PPPMを始め、さまざまな経営管理手法を利用した組織運営を実践しています。理事として経営管理にあたる上で、日本企業における経営とは異なった知識や経験を得ることができました。

10年間学んできたことを基に、今後もPMI日本支部に貢献していく所存ですが、私と同じような充実感をぜひ多くの皆様にも経験していただきたいと思っています。



監事

平石 謙治 (ひらいし けんじ)

ビー・ティー・ジー・インタナショナル
代表

2010年より2期にわたって理事を歴任、2015年3月からは監事を仰せつかり現在に至っています。

2010年、2011年は研究担当理事として、ボランティアのメンバーによって構成される研究会の意向を理事会に伝えることを主な役割として活動しました。

2012年、2013年は企画担当理事として、各部会からの提案を理事会につなぐ場としての企画委員会を主管しました。企画委員会においては、各部会からの声を丁寧に拾い上げることに注力し、PMI日本支部の運営に出来るだけ多くの部会からの声を反映した支部運営に努めました。

現在の監事の仕事は、支部の会計的な「健康状態」の監視・コントロールであると理解し、経理担当理事や事務局とのコミュニケーションを密に行うことが重要であると考えています。これに加えて支部の活動が、会員の皆様の意向にそって運用されるようモニタリングを行うことも監事の重要な役割の一つと理解しており、年に10回開催される理事会には極力参加してその動きをモニターし、必要ならばコントロールを行うよう活動しています。

これに加えて、OPM3第3版の作成にあたって、PMIコア委員会のメンバーとして活動しましたが、その時に得た情報等も活用、PMIの動向を少しでも正確に捉えて会員の皆様にお伝えしたいと考えています。

その他、PMIの活動にできるだけ積極的に参加し、PMの枠を超えて活動範囲を拡張しようとしているPMIの戦略を

理解し、支部メンバーの皆さまと共有することをめざして、今後の活動を進めていく所存です。



PMコミュニティ活性化担当

福本 伸昭 (ふくもと のぶあき)

日本アイ・ビー・エム株式会社
グローバル・ビジネス・サービス
執行役員

2012年より理事を務めております福本伸昭です。

私は、1983年に日本アイ・ビー・エム株式会社に入社以来、一貫してプロジェクト活動に関わる仕事をしてきました。プロジェクト・マネジャーとして自らプロジェクトを率いてきましたが、アウトソーシング・ビジネスにおいて長期的なプログラムマネジメントの実践も経験してきました。それらの活動において、PMIが提供しているPPPM(Project Program Portfolio Management)のバイブルは、行き詰まりそうになった時のオアシスとして、眺めるだけで私の気持ちを鎮めてくれました(笑)。

インターネットやクラウド技術の発展に伴い、世界中の人や物とシステムが相互接続され複雑化している現代は、予測不能の時代と言えます。そのような時代には、変化に柔軟で創造的なリーダーシップとそれを支えるグローバルでも通用するプロジェクトマネジメント技術が非常に重要であることは言うまでもありません。そのような中、グローバルでも通用するプロジェクトマネジメント技術やベストプラクティスの紹介と研究を行うPMIの活動や出版物は大変貴重なものだと思いますし、PMI日本支部の活動はまさに日本のプロジェクトマネジメント技術を代表するものです。特に、近年のプロジェクトは、国内の案件であっても、オフショア・デリバリーを活用することが当たり前になってきており、グローバル標準のプロジェクトマネジメント技術を習得していれば、コミュニケーションのギャップが発生するリスクは小さく、成功確率は大きく向上するはずで

私は、本年よりPMコミュニティ活性化委員会を担当させていただいておりますが、PMI日本支部の部会活動等のPMコミュニティ・ネットワークの拡大と繋がりを深めることに貢献したいと考えています。会員の皆様が何か一つでも興味のあるPMコミュニティに参加すれば、容易に他のPMコミュニティとの交流や情報交換ができるような施策を検討し、

PMI日本支部会員であることの価値を実感していただけるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



国際連携、標準担当

除村 健俊 (よけむら たけとし)

株式会社リコー
理事、ビジネスソリューション事業本部
ビジネス開発センター所長

PMI日本支部の理事として、2015年度、16年度は以下のような活動に携わってきました。

- 2015年はLeadership Meeting(LM)2015開催に向けてPMコミュニティ活性化委員会に参画し、活性化全般の議論やLM2015実施の検討を行った。また、LM2015ではワークショップの議論やまとめ方への適切なアドバイスを実施し、議論の活性化に貢献した。
- 2015年にTaiwan Chapter Congressに参加し交流の強化を図ると共に、参加報告を執筆しPMI日本支部会員へ情報共有を図った。
- 2016年はPM標準推進委員会査読WGリーダーとして、Navigating Complexityの査読を担当し、PMI日本支部として翻訳すべき書籍選択に貢献した。
- 2016年7月のPMI日本フォーラムで招待講演者として発表しPMI日本支部会員への情報提供を図ると共に、PMI日本フォーラム活性化に貢献した。
- 講演会や大学院での講義、(株)リコーのPMコミュニティ会長として、特に若い人たちへのプロジェクトマネジメントの普及促進やPM人材育成に貢献すると共に、PMP受験者数、PMI会員数の増加に尽力した。

今後、以下のような活動を通して、PMI日本支部会員へのサービス向上とPMI日本支部の活性化に貢献して行きたいと考えています。

- グローバル人事、人事ITシステム開発・給与アウトソーシング、経営マネジメントシステム改革、新規事業創出など、これまでの経験を基に経営課題解決へのプロジェクトマネジメントの適用やタレント・トライアングルの普及に努めていく。
- Region 9 Chapterとの交流に貢献し、PMI活動の活性化に貢献していく。

- PM標準推進委員会への参画を通して、PMI書籍の日本語化を企画・実施し、日本のPMコミュニティ活性化に貢献していく。
- 私の専門分野である製品開発分野を中心に、PMIの活動や各種イベントなどを通して、プロジェクトマネジメントの普及促進や認知度、価値の向上に努め、PMI日本支部活動の認知度向上と会員増につなげていく。

以上、よろしくお願いいたします。



監事

渡辺 善子 (わたなべ よしこ)

株式会社 日本政策金融公庫
社外取締役

私がPMの世界に本格的に足を踏み入れたのは20年以上前になります。1995年から3年間ニューヨークでプロジェクト・エグゼクティブとしてお客様のシステム構築を担当しました。この時PMI主催のコンGRESSやセミナーワールドで学んだPM知識がお客様エグゼクティブやプロジェクト・メンバーとのコミュニケーションに大いに役立ちました。多様な価値観を持つグローバル人材を率いるプロジェクトでは普遍的なPM知は必須の知であることを実体験しました。

帰国後、大規模プロジェクトを多く抱える部門の長として自らもPMPを取得し、研鑽を積みました。PMI東京支部(現日本支部の前身)理事就任後は年に二回、北米とヨーロッパのPMI LIM (Leadership Institute Meeting)に参加し、グローバル化の時代の変遷を目の当たりにしてきました。当初の参加者は白人・男性中心でしたが北米では黒人・女性の割合が、またヨーロッパでは東欧系の割合が年々増加しているのがよくわかります。PMは次のステップを目指す人にとっても非常に魅力ある職種であることを確信しています。

PMI日本支部の理事時代は、一般社団法人への移行、ミッションの策定、ランチの設立等々に携わってきました。会社役員退任後は理事任期満了をもってフリーとなる予定でしたが、監事としてもう暫くお付き合いをさせていただくことになりました。PMI日本支部がより健全に発展するようガバナンス体制を注視していくこととなります。会員のみなさまのご提言お待ちしております。

Activities / 支部活動

PMI Japan Festa 2016のご案内



Think outside the box
 ~困難を打開できるプロジェクト・マネジャーに~

2016年11月5日(土)、6日(日)の2日間にわたり、PMI Japan Festa 2016 を開催します。

固定概念や過去の事例にとらわれず、柔軟な思考で課題の本質を捉え、プロジェクトに取り組む講師の方々を紹介することで、参加者の意識変革とモチベーションアップを促し、プロジェクトマネジメントを通じて社会全体の活性化に貢献していくことを狙いとしています。



- 開催日■ 2016年**11月5日(土)・6日(日)**
- 受付開始■ **11:00 ~ (5日) 9:00 ~ (6日)**
- 講演■ **11:45 ~ 17:45 (5日)**
9:30 ~ 15:05 (6日)
- 交流会*■ **18:00 ~ 20:00 (5日のみ)**
 *交流会は、講演内容や日ごろの実務で感じている問題を講師へ問いかけたり、PM同士でざっくばらんに話ができる良い機会です。初めての方もご気軽にご参加ください
- 受講証明■ **最大9PDU**
(2日間合計) **ITC実践カポイント9時間分**
- 定員■ **各日とも400人(申込み順)**
- 申込方法■ **PMI日本支部 トップページのバナー「PMI Japan Festa2016」からどうぞ**
- 主催■ **PMI日本支部 セミナープログラム**
- 予告動画配信■
講師の方々によるメッセージ等を予告編として動画で順次配信します

■参加費(税込)■

	PMI日本支部会員	法人様/サ-社員	一般	受講証明
1日目のみ	13,000円 15,000円	18,000円 20,000円	27,000円 30,000円	5.0PDU
2日目のみ	11,000円 12,000円	15,000円 16,000円	22,000円 24,000円	4.0PDU
両日参加	22,000円 25,000円	30,000円 33,000円	46,000円 50,000円	9PDU
交流会	2,000円	2,000円	2,000円	—

上段の金額は、10月5日(水) 15:00 までに入金確認できた方への早割料金です。

講師と講演テーマは裏面をご覧ください

■場 所■

【講演会場】
慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール
 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
 東急東横線、東急目黒線、横浜市営地下鉄「日吉駅」徒歩1分

【交流会会場】
慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎1F ファカルティラウンジ

PMI Japan Festa2016ホームページ



PMI Japan Festa 2016のご案内



■プログラム構成■



講演概要




予告編 動画

【11月5日（土）】

		時 間	テ ー マ	講 師
K-1		12:00 ～ 13:30	お茶一杯から始まった“はとバス”の経営改革 ～私の実践的企業経営論～	宮端清次 氏 (株) はとバス 元代表取締役社長
K-2		13:45 ～ 14:45	遠くに見るのは常に光 ～クラフト蒸溜所の新たな時代を創りだせ!～	肥土伊知郎 氏 (株) ベンチャーウイスキー 取締役社長
K-3		15:00 ～ 16:00	調達から考えるサプライチェーン経営戦略	垣見祐二 氏 (株) JERA 代表取締役社長
K-4		16:15 ～ 17:45	パネル ディスカッション： グローバル・プロジェクトを斬る	喜多羅滋夫 氏 日清食品ホールディングス(株) 執行役員CIO グループ情報責任者
				当麻哲哉 氏 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授
				小田めぐみ 氏 学校法人 国際学園 国際短期大学 専任講師

【11月6日（日）】

		時 間	テ ー マ	講 師
K-5		9:30 ～ 10:30	アジアでゼロから起業して体感した可能性と本当の リスク	渡辺和喜 氏 ユナイテッド・リグロース (株) 取締役COO
K-6		10:45 ～ 11:45	食卓からおいしく資源保護を ～完全養殖本まぐろ全国供給プロジェクト～	松本金蔵 氏 イオンリテール (株) 食品商品企画本部 水産企画部長
K-7		12:45 ～ 13:45	ここには、「なにもない」があります ～ローカル鉄道需要の創造～	鳥塚亮 氏 いすみ鉄道 (株) 代表取締役社長
K-8		14:00 ～ 15:00	レースの世界、ロボットの世界	新井康久 氏 (株) 本田技術研究所 主席顧問

リーダーシップミーティング2016 概要報告

2016年9月10日(土)と11日(日)の2日間、東京都調布市にあるNTT中央研修センターにて、PMI日本支部の各部会(委員会、研究会)の方々と理事が一堂に会して「PMI日本支部リーダーシップミーティング LM2016」が開催されました。

- 日 時：2016年9月10日(土)、11日(日)
- 場 所：調布市入間町「NTT中央研修センター」
- 参加者：64人 (PMIアジア・パシフィックからのゲスト SoHyun Kang マネジャー、支部理事・監事 18人、部会メンバー 41人、事務局 4人)

二日間にわたり、PMI本部情報、ミッション委員会報告、部会連絡会の新方針、慶應義塾大学大学院 当麻教授の指導によるSDM(システムデザイン・マネジメント)の考え方に沿ったワークショップ「部会活動の悩みを楽しくぶちまけよう！」等が行われ、熱い議論が展開されました。

詳しくは、次号、ホームページ等でご報告します。



当麻教授による講義



理事・参加者で共にプレスト



班ごとの成果発表



参加者 集合写真

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■ ソフトバンク・テクノロジー株式会社

ソフトバンク・テクノロジー(以下、SBT)は、M&Aや従業員の拡大を推進し、3年前と比較して従業員は2倍の800名を超え、SBTグループは国内8社体制まで拡大しました。

コーポレートスローガン「One! SBT」のもと、SBTグループが一丸となり、今後も付加価値の高いICTサービスの提供を通じて、お客様のビジネスに貢献してまいります。

近年では、クラウドを中心とした大型案件が増加し、プロジェクトマネジメント体制強化の人材教育など、社員がそれぞれ能力を伸ばし、発揮できる場を広く設けています。

SoftBank
Technology



1. 企業概要

「情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～」という理念のもと、情報・通信技術の専門集団として、ソフトバンクグループ内外の顧客ビジネスをICTサービスの提供を通じて支援しております。

当社は、1999年に4つのビジネスユニット(ソフトバンク技研・ソフトバンク情報システム部・エスピーネットワークス・ソフトバンクネットワークセンター)を統合し、ソフトバンク・テクノロジー株式会社として誕生しております。2012年より「大きく成長する」ことを経営方針として掲げ、成長の土台(「人材の強化」「独自技術の保有」「シナジーの創出」)を築いてきました。

2013年3月期より、注力事業分野と定めたビッグデータ分野(データアナリティクス)、セキュリティ分野(セキュリティソリューション)、クラウド分野(クラウドソリューション)の事業をサービス化し、ビジネスのトランスフォーメーションを進めております。

その結果、注力3事業を合計した売上高は4倍となり、売上高構成比の約1/4を占めるまでになりました。(2016年3月期 連結売上451億円 6期連続増収)

2. 事業内容

SBTグループは、ICTサービス事業を基盤として成長を続けてきました。昨今は、クラウドを軸に「デジタルマーケティング分野」「プラットフォームソリューション分野」「クラウドシステム分野」を展開しています。

■ デジタルマーケティング分野

- データアナリティクス：データを蓄積する基盤から分析・見える化サービスまでワンストップで提供
- ECサービス：美しく機能的なECサイトの作成から運営代行までワンストップで提供

■ プラットフォームソリューション分野

- セキュリティソリューション：安全にビジネスを行うために必要なセキュリティ対策ソリューションの提供
- ITインフラソリューション：最先端のICTテクノロジーを取り入れた効率的で最適なITインフラの実現

■ クラウドシステム分野

- クラウドソリューション：マイクロソフトのクラウド製品とSBT独自技術を組み合わせたサービスを提供
- システムインテグレーション：情報システム、モバイルアプリ、IoTアプリの企画、設計、開発、運用

事業面では、「クラウドで、ビジネスをトランスフォーメーションする」という戦略のもと、従来の「労働集約型」からクラウド・ビッグデータ・セキュリティ分野を組み合わせた「クラウドサービス提供型」の事業に転換を図っています。

今後は、SBTのクラウドサービスでITシステムを効率化・最適化に導くとともに、お客様を取り巻くビッグデータを経営戦略に活かしてビジネス競争力を向上させる「ビジネス拡大のパートナー」となるべく、挑戦を続けていきます。

3. プロジェクトマネジメント活動

当社では、より大きな案件を受けられる規模に人材の強化を図ってきました。現在、各分野に経験豊富な専門家が在籍

Stakeholders / 法人スポンサー紹介**■ソフトバンク・テクノロジー株式会社**

し、お客さまに最適なソリューションの提案を行っています。高い技術力と課題解決力を持つ“人財”がソフトバンク・テクノロジーの成長を促す原動力になっています。

2015年3月期の大型不採算案件の発生を受けて、プロジェクト管理体制の強化に努めてまいりました。プロジェクト管理の専門組織（PMO）を設置し、プロジェクトを早期から段階的にチェックする体制を整備した結果、大型不採算案件の抑制とエンジニアの生産性向上に繋がり、2016年3月期は大きな利益成長を果たすことができました。引き続き、プロジェクト管理体制を強化する取り組みを継続し、プロジェクト収益の最大化を目指してまいります。

そういった中で、収益向上に関する重点施策として、現在PMPの取得推奨を全社的に展開しており、来期に向けて100名体制（保有率15%強）を目指しております。プロジェクト管理者の管理能力を向上させる他、プロジェクトに参加するメンバーも共通認識で対応が可能になります。PMOによる各プロジェクト進行状況の確認を開発工程毎に実施することで、大型/複合案件の対応、複数のノウハウを集約・蓄積しております。

これらの活動を通じて、プロジェクトの種別に応じた最適チームを構築し、見通しが悪い案件に対する早期支援体制の整備や、案件品質向上による「手戻り=やり直し」の減少にも繋げてまいりました。

4. PMI 日本支部への期待

社内におけるPMP保有者が直近2年間で7倍に増えてきたことも受け、この度2016年7月よりPMI日本支部の法人スポンサーに加入させていただきました。

体系的な知識習得に留まらず、様々な大型プロジェクトを適正に管理すべく、人財強化を図っております。

継続して社内文化の醸成も図ると共に、様々なスポンサー企業様の事例や新しい手法・概念を取り入れつつ、ビジネス拡大を目指したいと考えております。

そのために各セミナーでの情報収集・意見交換をはじめ、内製化教育も視野に入れたノウハウの収集・蓄積に有用となる、継続的な機会・情報の提供をお願いしたいと思います。

PMI日本支部様や各スポンサー企業様との密な情報の連携をさせて頂ければ幸いです。

■ 株式会社ビジネス・ブレイクスルー

株式会社ビジネス・ブレイクスルーは大前研一が代表取締役を務める経営指導・人材育成教育を行う企業です。様々な講座・プログラムを通して、企業・個人における真のプロフェッショナルなリーダーを育成しています。

2016年7月より、PMI日本支部の法人スポンサーとなりました。



1. 企業概要

ビジネス・ブレイクスルー (BBT) は、「世界で活躍するリーダーを育成する。」をミッションとして経営に特化した教育事業を行っています。

これからのビジネスにおいて、世界に伍して戦っていくには、世界標準の経営の枠組み、ものの考え方、分析ツールをしっかりと身に付けていなければなりません。残念ながら現状の日本においては、新しい経済社会に適応していくために、新人から社長までマネジメント教育・能力開発のやり直しが求められています。

BBTでは、新しい経済社会とは何か、その中で個人あるいは企業が遭遇する問題をどのように捉え、どのように解決していくのかという問題解決能力を向上させるためのトレーニングをベースに、経営の最新トピックス、優れた企業経営者からの事例紹介など、生きた経営のコンテンツを提供しています。

BBTが提供する人材開発のプラットフォームは、年間1,000時間のペースで新たに制作しているコンテンツと教育システムをベースに設計されており、新人から社長まで広範囲をカバーしています。BBTは、企業そして個人における生涯にわたる教育パートナーとして、世界社会に貢献できる新のプロフェッショナルなリーダーを育成します。

2. 教育プログラム

ビジネス・ブレイクスルーでは、MBAを取得可能な通信教育方式による専門職大学院の (1) BBT 大学院 経営管理修士課程、実用的なビジネス論理思考力を身に付ける (2) 実践ビジネス英語講座、ビジネス映像視聴することで気軽にスキルアップできる (3) BBTラーニングマーケット、組織として結果を出し続けるリーダーを養成する (4) リーダーシッ

プ・アクションプログラム、エグゼクティブ向け研修プログラム (5) BBT × PRESIDENT Executive Seminar など様々なプログラムを提供しています。以下にそれぞれのプログラムに関してご紹介致します。

(1) BBT 大学院

BBT 大学院は、日本で初めて、文部科学省が認可したインターネットを利用した「遠隔教育方式」の経営大学院です。働きながら好きな時間に、好きな場所で本格的なMBA教育を受けることが可能です。また、21世紀社会を生き抜くための基礎的体力である「問題解決力」を伝授することに主眼を置いており、成功への飽くなき欲求をもったビジネスパーソン向けの教育機関でもあります。講師陣は大前研一学長をはじめ、ビジネス経験豊かな実務家たちばかりです。世界中の経営者、実務家、研究者との交流からビジネスのアイデアや意見を交換することで、単なるMBAホルダーではなく次のビジネスシーンを創造し、リードしていける即戦力を持ったMBA人材を育成しています。

(2) 実践ビジネス英語講座

実践ビジネス英語講座は、「今、グローバルビジネスの現場で求められているのは、ブローケンでも、相手に通じ人を動かすことができる、結果を出せるコミュニケーション能力」という大前学長の想いをキーコンセプトに、世界のビジネスシーンで通用する実践的な英語力、ニュアンスを伝え相手を動かしていくための考える力、グローバルで成功し結果を出していくためのビジネスマインドを養っていきます。全てのカリキュラムが、遠隔方式 (映像講義・スピーキングトレーニング・サイバーディスカッション・自己学習ツールなど) で学べるので、毎日を忙しく過ごすビジネスパーソンに

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社ビジネス・ブレイクスルー

も最適です。学びたいときに学べるから続けられる、ビジネス英語+αのコミュニケーション力が身につくからビジネスで結果を出せる。ビジネス英語を身につけることはもちろん、仕事で活かせるグローバルコミュニケーション力を身につけ、グローバルで活躍したい、そう考える方のためのビジネス英語講座です。

(3) BBTラーニングマーケット

BBTラーニングマーケットは、1講座から購入いただけます。まず興味のある分野から受講し、更に補強したい講座を追加受講するなど、成長ステージや目的に合わせて受講することが可能です。BBTが独自に開発したオンライン受講システムAirCampusを使う事で、インターネット環境さえあれば、PC・モバイル機器を使って世界中いつでもどこからでも受講を可能にしました。講師の臨場感あふれる語り口と、それに連動する講義資料により、ビジネス知識、ものの見方・考え方、コミュニケーション力などの理解が容易になります。講師陣も、BBTだから実現したと言っても過言ではない、その道の第一人者が集結。その貴重で熱のこもった講義を繰り返し受講することで、必要とする力に磨きをかけることができます。

(4) リーダーシップ・アクションプログラム

リーダーシップ・アクションプログラムは、大前研一が定義する次世代リーダーの条件を、遠隔教育だけでなく、集合研修等リアルな場を設け学習、実践するプログラムです。次世代リーダーの条件は、ビジョン構想力・組織構築力・人を動かす力の3つです。ビジョン構想力は、世界の本質的变化を理解した上でFactに基づいた分析を行い、自社の方向性を戦略的に決め、ビジョンを打ち出すことが出来ること。組織構築力は、自組織の戦力を理解した上で、ビジョン実現のために必要な組織構築が出来ること。人を動かす力は、人を動かし、結果を出すことが出来ること。大震災や、企業の急速な業績悪化など、今まで経験したことの無い危機に直面した際、それらを乗り越えられる強いリーダーを養成するプログラムです。

(5) BBT × PRESIDENT Executive Seminar

BBT × PRESIDENT Executive Seminarは、企業のトップと参謀を対象にした一泊二日のエグゼクティブ研修です。その時々で、企業にとって最も重要な問題を取り扱い、シリーズとして年に4回開催します。参加者は自分が参加する回だけでなく、1年間すべての回の講義ビデオを視聴できます。「ATAMI せかいえ」という非日常な空間で、大前研一やその時々のキーパーソンと少人数で語り合うことで、新しい発想、出会いが得られます。

3. PMI日本支部に期待すること

実践や成功を重視するPMIの価値観とゴールは、BBTの「世界で活躍するリーダーを育成する。」というミッションと共通性が高いと感じています。BBTは、プロジェクト・マネジャーの方々に、PMIのタレントトライアングルにおけるStrategic Project ManagementとLeadershipに関して、より高い次元で力を発揮するためのお手伝いができたらと思っていますので、引き続きよろしくお願い致します。

■株式会社ビジネス・ブレイクスルー

〒102-0085

東京都千代田区六番町1-7 Ohmae@workビル

<http://www.bbt757.com>

[PMP資格用講座]

<http://bb.bbt757.com/market/pmp/>

PM Calendar / PM カレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。

詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中】

■ PMI日本支部関連セミナー

- **体験者が語る PfMP® 受験対策セミナー**
 ～ PMP®が目指すべきネクスト・キャリア ～
 - ・日時：9月30日(金) 19:00～20:30
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・無料（受講証明書は発行しません）
- **アジャイル プロジェクト スタートアップ入門**
 ～ 見積り・計画編 ～
 - ・日時：10月5日(水) 9:30～18:00
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・7PDU、ITC実践力ポイント7時間分
- **現場で使うためのリスク・マネジメント**
 ～ 事例で学ぶ体験型セミナー ～
 - ・日時：10月15日(土) 10:00～17:30
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・6PDU、ITC実践力ポイント6時間分
- **PMO研究会 セミナー&ワークショップ**
 ～ 今求められるPMOのありかた ～
 - ・日時：10月22日(土) 13:00～17:00
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・4PDU、ITC実践力ポイント4時間分
- **デザイン思考基礎**
 ～ 優れた顧客経験(CX)を提供する ～
 - ・日時：10月28日(金) 9:30～18:00
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・7PDU、ITC実践力ポイント7時間分
- **PMBOK®ガイド 第5版ソフトウェア拡張版解説と PMBOK®ガイド 最新動向解説**
 ～ 地域フリーセミナー ～
 - ・日時：土または日曜日の午後
 - ① 札幌 (10月29日)
 - ② 大阪 (11月5日)
 - ③ 神戸 (11月6日)
 - ④ 京都 (11月12日)
 - ⑤ 名古屋 (11月13日)
 - ⑥ さいたま (11月26日)
 - ⑦ 仙台 (11月27日)
 - ⑧ 金沢 (12月17日)
 - ・2.75PDU、ITC実践力ポイント2.75時間分
 - ・無料
- **PMBOK®セミナー 第5版対応**
 - ・日時：11月26日(土) 9:30～18:50
 27日(日) 9:30～17:40
 - ・場所：PMI日本支部セミナールーム
 - ・14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

■ PMI日本支部関連イベント

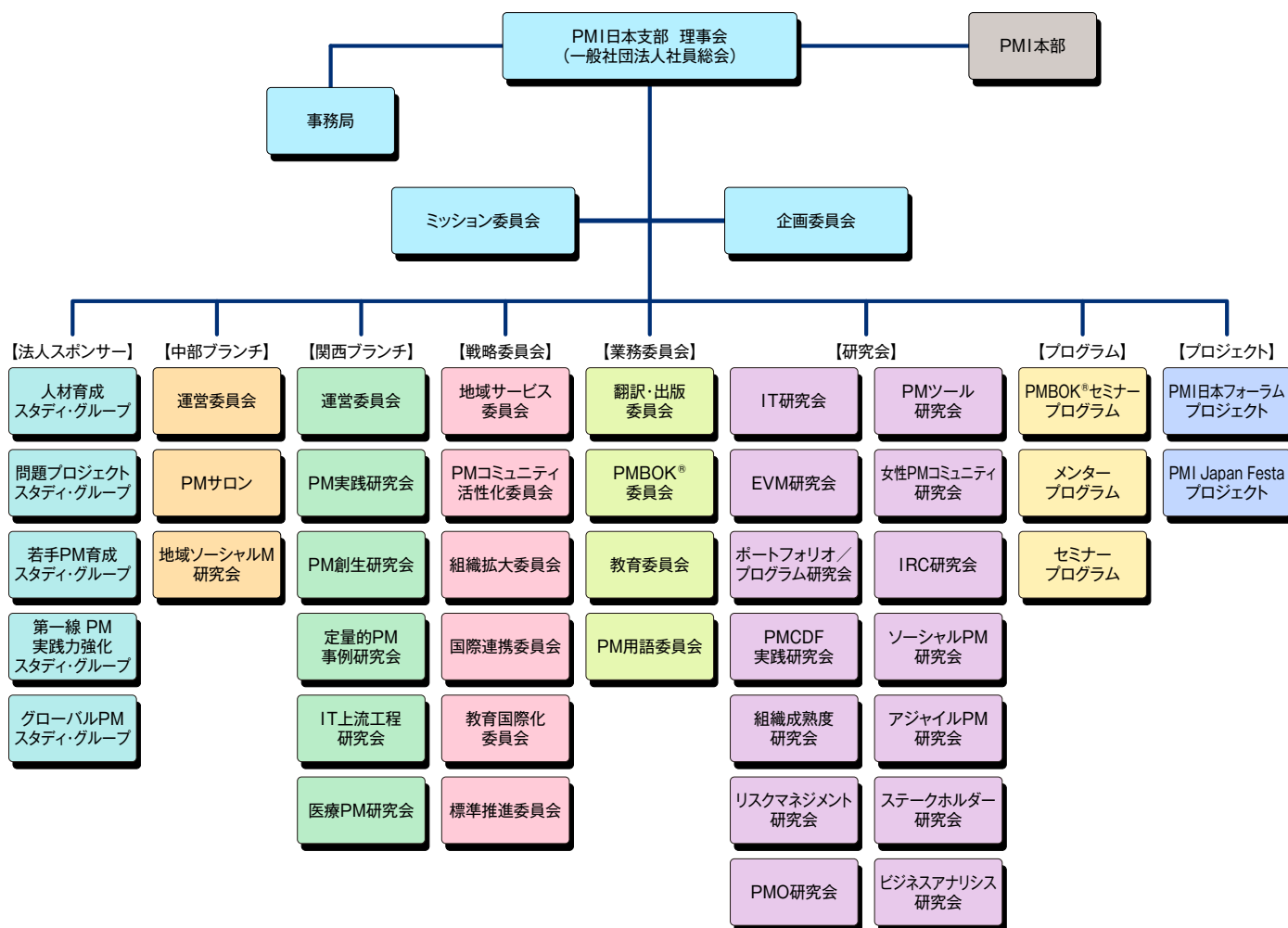
- **PMI Japan Festa 2016**
 - ・日時：2016年11月5日(土) 11:45～17:45
 6日(日) 9:30～15:05
 - ・場所：慶應義塾大学日吉キャンパス
 協生館藤原洋記念ホール（横浜市）
 - ・9PDU、ITC実践力ポイント9時間分
- **〈予定〉法人スポンサー連絡会（対象：法人スポンサー社員のみ）**
 - ・日時：2016年12月5日(月) 14:00～17:15
 - ・場所：三菱総合研究所本社
 - ・2.5PDU

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
 PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2016年9月現在)



■ 理事一覧 (2016年9月現在)

会 長 : 奥 澤 薫 (KOLABO)
 副会長 : 片 江 有 利 (株式会社プロシード)
 副会長 : 端 山 毅 (株式会社NTTデータ ユニバーシティ)

(以下、五十音順)

理 事 (PMコミュニティ活性化担当) : 麻 生 重 樹 (日本電気株式会社)
 理 事 (教育国際化担当) : 井 上 雅 裕 (芝浦工業大学)
 理 事 (企画、地域サービス担当) : 浦 田 有 佳 里 (株式会社HS情報システムズ)
 理 事 (地域サービス担当) : 木 南 浩 司 (株式会社マネジメントソリューションズ)

理事 (教育国際化担当)	: 齊藤 学 (Skylight Consulting Inc.)
理事 (国際連携担当)	: 杉村 宗泰 (日本マイクロソフト株式会社)
理事 (ミッション、標準担当)	: 鈴木 安而 (PMアソシエーツ株式会社)
理事 (ミッション、組織拡大担当)	: 武上 弥尋 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (PMコミュニティ活性化担当)	: 高橋 正憲 (PMプロ有限会社)
理事 (PMコミュニティ活性化担当)	: 竹内 正興 (一般財団法人国際開発センター)
理事 (PMコミュニティ活性化担当)	: 当麻 哲哉 (慶應義塾大学大学院)
理事 (組織拡大担当)	: 徳永 幹彦 (株式会社日立インフォメーションアカデミー)
理事 (標準担当)	: 中嶋 秀隆 (プラネット株式会社)
理事 (国際連携担当)	: 福本 伸昭 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (財政担当)	: 三嶋 良武 (株式会社三菱総合研究所)
理事 (企画、組織拡大担当)	: 森田 公至 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (国際連携、標準担当)	: 除村 健俊 (株式会社リコー)
監事	: 神庭 弘年 (神庭PM研究所)
監事	: 平石 謙治 (ビー・ティー・ジー・インタナショナル)
監事	: 渡辺 善子 (株式会社日本政策金融公庫 社外取締役)

■最新の会員・資格者情報 (2016年7月31日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®
PMI 本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
477,573人	3,360人	724,773人	33,374人	4人	6人	5人	18人	2人	3人	93人

■行政スポンサー (2016年9月現在)

- ・三重県 桑名市
- ・滋賀県 大津市

■法人スポンサー 一覧 (106社、順不同、2016年9月現在)

- ・TIS株式会社
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・株式会社NSD
- ・株式会社プロシード
- ・株式会社インテック
- ・キヤノンITソリューションズ株式会社
- ・日本電気株式会社
- ・株式会社ジェーエムエーシステムズ
- ・アイアンドエルソフトウェア株式会社
- ・株式会社NTTデータ
- ・日本マイクロソフト株式会社
- ・プラネット株式会社
- ・株式会社建設技術研究所
- ・日本ユニカシステムズ株式会社

- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- 株式会社アイ・ティー・ワン
- コンピューターサイエンス株式会社
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- TDC ソフトエンジニアリング株式会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- Kepner-Tregoe Japan, LLC.
- JBCC 株式会社
- 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所
- 日本アイ・ビー・エム・ビズインテック株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立インフォメーションアカデミー
- 情報技術開発株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- アイシンク株式会社
- 千代田システムテクノロジーズ株式会社
- 三菱総研DCS 株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 新日鉄住金ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- NECネクサソリューションズ株式会社
- 株式会社JSOL
- リコーITソリューションズ株式会社
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 富士電機株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- 日本証券テクノロジー株式会社
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- International Institute for learning - Japan 株式会社
- 株式会社ラック
- ニューソン株式会社
- 三菱電機株式会社
- TAC 株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 日立INSソフトウェア株式会社
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタコミュニケーションシステム
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- Innova Solutions, Inc.
- 株式会社ワコム
- 株式会社HGST ジャパン
- NCS & A 株式会社
- 日本システムウェア株式会社
- 日立物流システム株式会社
- SCSK 株式会社
- プライスウォーターハウスクーパース株式会社
- アクシスインターナショナル株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- 株式会社シティアスコム
- 損保ジャパン日本興亜システムズ株式会社

- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & AD システムズ株式会社
- 日本クイント株式会社
- 第一生命保険株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社HS情報システムズ
- 株式会社アジャイルウェア
- 株式会社ビジネス・ブレイクスルー
- ソフトバンク・テクノロジー株式会社

■アカデミック・スポンサー 一覧 (34教育機関、登録順、2016年9月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 北海道大学 サステイナビリティ学教育研究センター
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学連携推進センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 大阪府立大学 21世紀科学研究機構 産学協同高度人材育成センター
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科

Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

- 今号では、前号に引き続き、2014年度から継続して活動している理事・監事6人のご挨拶を掲載しました。
- 本年11月5日・6日に迫った「PMI Japan Festa 2016」をご紹介します。今年は初の試みとしてパネルディスカッションを盛り込んだほか、講師の方々への事前インタビュー動画も公開しています。早割は10月5日まで。ご参加をお待ちしています。
- 9月10日(土)と11日(日)の2日間、PMI日本支部の各部会（委員会、研究会）の方々と理事が一堂に会する「PMI日本支部リーダーシップミーティング LM2016」が開催されました。その概要をお知らせしました。
- 最近、法人スポンサーに加入いただいた2社（ソフトバンク・テクノロジー株式会社様、株式会社ビジネス・ブレイクスルー様）から、自社のご紹介、PMI日本支部への期待等を投稿いただきました。
- 10月29日から12月17日にかけて、札幌市から神戸市まで全国8都市で「PMBOK®ガイド 第5版ソフトウェア拡張版解説とPMBOK®ガイド 最新動向解説」と題してフリーセミナーを開催します。ふるってご参加ください。

ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

ニューズレターは、皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。お気軽にPMI日本支部事務局宛てにお送りください。

PMI日本支部ニューズレター Vol.68 2016年9月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局
 〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階
 TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833
 E-mail：info@pmi-japan.org
 ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)